

Table with columns for project name, codes, course, class, budget, and policy details. Includes '合併処理浄化槽設置促進事業' and '環境課'.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table for project overview including '事業期間', '事業の内容', and '事業の概要'.

(2) トータルコスト

Table for total costs including '事業費の内訳' and '延べ業務時間の内訳'.

Summary table for costs and personnel with columns for units, 22nd, 23rd, 24th, and 25th fiscal years.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Main table for activity, objectives, and indicators, including '① 主な活動', '② 対象', '③ 意図', '④ さらに...', '⑤ 活動指標名', '⑥ 対象指標名', '⑦ 成果指標名', and '⑧ 上位成果指標名'.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table for environmental changes and resident opinions, including '① 開始したきっかけは何か?', '② 事務事業を取り巻く状況', and '③ この事務事業に対して関係者'.

事務事業名	合併処理浄化槽設置促進事業	課名	環境課	班名	環境美化班
-------	---------------	----	-----	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 合併処理浄化槽設置費用への補助を行うことにより、住民の費用負担が軽減され、合併処理浄化槽の普及促進が図られ水質浄化につながる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 生活排水を未処理のまま放流する単独処理浄化槽、汲取り槽から合併処理浄化槽への転換は、水質浄化のために最も効果的で効率が良く、現行のままで適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 公共水域の水質保全は市が行わなければならない。下水道、農業集落排水区域が現状維持の状況である場合、生活排水を処理できるのは合併処理浄化槽のみであり、水質浄化を図るためには普及の推進は必至である。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 近隣市の汚水処理人口と比較すると、平均的なところである(H23年度近隣市 40～53% 旭市45.7%)。ただし依然、未処理人口が半数を占めているため、将来的に改善の余地あり。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 年度前半に補助枠が終了する状況であることから、補助基数を増やせば成果は向上するが、国県の補助が減額傾向であり、補助枠の増加は困難。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (1) 事務事業名：(公共下水道事業、農業集落排水事業) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 公共下水道事業、農業集落排水事業との連携により、下水道、農業集落排水区域内の場合には、それぞれ公共下水道、農業集落排水への接続をお願いしており、本事業による補助金は、公共下水道、農業集落排水区域外を対象としている。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費総額については、年度内の予算が足りずに要望に対して補助できないこともある状況である。1件あたりの補助額については、県の補助制度と連動しているため、市単独で変更は難しい。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 国・県の補助制度への対応を含め、必要最低限の事務を行っており、これ以上の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 他の補助金制度においては、世帯員の市税の納付状況を確認しているが、この補助金制度においては申請者のみの確認となっている。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 補助事業としては現状のままでほぼ適正であるが、公平性の一部見直しが必要である。 なお、汚水未処理人口が依然多い状況であることから、今後も住民に対し水質浄化、保全等の啓発を行い、水環境に関する意識を高めていきたい。
--	--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業： <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①平成25年度中に要綱の見直しを行う(主に補助対象者及び補助金額)。 ②平成25年度中に国・県への補助総額の増額を要望する。 ③平成25年度中に制度の分かりやすい説明資料を作成する。																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①特になし ②特になし ③特になし																								